

株主の皆様へ

第107期決算のご報告

平成27年4月1日～平成28年3月31日

株式会社 **サンエー化研**

証券コード:4234

To Our Shareholders

株主の皆様へ



代表取締役社長 藤岡宣隆

株主の皆様には、日頃より格別のご支援とご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

まず、第107期（平成27年4月1日～平成28年3月31日）における当社グループを取り巻く経営環境と事業活動の概況についてご報告させていただきます。

■ 当期の経済情勢

当期における世界経済は、先進国の雇用情勢の改善や原油安に伴う実質所得の増加により、米国においては個人消費が堅調に推移し、ユーロ圏においても緩やかな回復基調

を維持しました。

反面、新興国や資源国においては、景気減速が進行中の中国向けの輸出減少や、原油、鉄鉱石などの資源価格の下落に加え、通貨安に陥ったこれらの国々が米国に追随して利上げに踏み切ったことなどが影響し、景気は後退しつつあります。

一方、わが国経済においては、原油安とインバウンド需要に支えられ、幅広い業種で企業業績の改善が見られましたが、消費者の節約志向の高まりや中国並びに資源国の景気減速の影響を受け業績不振に陥る企業もあり、景気は横ばい状態で推移しています。

当社グループの業績概況

当期における当社グループの業績といたしましては、産業資材及び機能性材料の両事業セグメントとも海外ユーザーをはじめ既存顧客からの受注の伸び悩みにより厳しい状況が続きました。軽包装材料においても競争激化による既存顧客からの受注減少がありました。新規案件の受注獲得やその他の事業セグメントにおける取り扱い増加によって、売上面では前期比で僅かな減収にとどまりました。

一方、原油安の定着と材料選定の見直しにより、樹脂、プラスチックフィルムなどの原材料コストは全事業セグメントで低減しました。さらに、各生産拠点における製造工程の見直し、原材料ロスの低減、在庫保有コストの圧縮など合理化活動推進による経費削減効果も加わり、利益面では大幅な改善を果たしました。

その結果、当社グループの経営成績は、売上高295億67百万円（前期比1.1%減）、営業利益11億68百万円（前期比728.2%増）、経常利益13億57百万円（前期は85百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益8億98百万円（前期は51百万円）となりました。

今後の取り組みについて

まず軽包装材料においては、前期及び当期に奈良工場と静岡工場に導入した自立袋用製袋機の稼働率向上に取り組みます。そのため、これらの設備で製造される「レンジDo! STタイプ」、液体洗剤及びシャンプー・リンス等の詰替え用パウチの拡販に注力いたします。また、当期より受注が大幅に増加した高防湿PTPシート用フィルム「テクニフィルム」やイーザーカットフィルム「ポロソ」など拡販余地のある製品の一層の普及に取り組むとともに、収益性の低い押出ラミネート加工品のコスト削減を徹底いたします。

次に産業資材においては、本年6月竣工の掛川工場WESTを早期に本格稼働へ移行させ、当社グループにおける生産の最適化を図るべく、新工場を含め4拠点ある当事業セグ

メントの生産体制を再構築いたします。また、電材用工程紙の製品ラインアップ拡充と炭素繊維プリプレグ用工程紙の商品化実現によって、当事業セグメントの売上拡大と低収益構造からの脱却を図る取り組みをいたします。

最後に機能性材料においては、中国蘇州市に立地する合弁会社：長鼎電子材料（蘇州）有限公司の稼働開始と、現地販売子会社：灿櫻（上海）商貿有限公司の設立により、中国における光学用表面保護フィルムの生産販売体制が整いました。今後は、これら現地法人が取り扱う製品の品質安定化と中国及び周辺国でユーザー開拓を推進し、当事業セグメントの売上拡大を図ってまいります。一方、国内工場で製造する製品については、タッチパネル関連部材向けを中心に付加価値の高い製品比率を高め、収益性向上に努めます。

また、静岡市に所在する研究所の機能の強化及び拡充を図るため、本年度中に掛川工場WEST建屋内に研究所を移転するとともに、名称をR&Dセンターに改称いたします。R&Dセンターは掛川工場にも隣接することから、これまで以上に開発部門と生産部門が密接に連携し、開発期間の短縮と顧客満足の向上に取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年6月

決算ハイライト

● 売上高 295.67 億 67 百万円 (前期比 1.1%減)	● 営業利益 11.68 億 68 百万円 (前期比 728.2%増)
● 経常利益 13.57 億 57 百万円 (前期は85百万円)	● 親会社株主に帰属する当期純利益 8.98 億 98 百万円 (前期は51百万円)

Segment Review

セグメント別のご報告

軽包装材料

47.6%



■ 事業内容

食品、医薬品、医療器具、洗剤・トイレタリー用品、精密機器等の包装材料(包材)の製造・販売を行っています。市場ニーズを的確にとらえ、内容物にもっとも適したパッケージを供給するとともに、自然環境に優しい包材の開発にも取り組んでいます。

産業資材

25.2%



■ 事業内容

粘着テープ・ラベル等の基材、剥離紙の製造・販売を行っています。近年は、粘着テープやラベルの用途が多様化・高度化しており、こうした要求に応え、長年にわたり培ってきたラミネート技術や離型剤塗工技術を駆使し、新製品開発を進めています。

機能性材料

25.4%



■ 事業内容

機能性プラスチックフィルム(各種表面保護フィルム等)の製造・販売を行っています。光学用途の各種部材(フラットパネルディスプレイに使用される偏光板やプリズムシート等)から建材用途にいたるまで、様々な部材を製造工程や輸送時・保管時のキズ・ホコリ・汚染から保護します。

■当期の概況

- ・ **食品用包材**については、電子レンジ対応食品包材「レンジD○!」やイージーカットフィルム「ポロソ」が販売好調。清涼飲料用パウチも春先の気温上昇の影響とゼリー飲料向けの伸びにより後半に回復したが、その他の食品包材が落ち込み、僅かに減収。
- ・ **医薬品・医療用包材**については、高防湿PTPシート用フィルム「テクノフィルム」が新規採用を含む受注増により増収。
- ・ **洗剤・トイレタリー用包材**については、前期の生産能力増強と拡販の進展により大幅増収。
- ・ **電子・精密その他の包材**については、電子部品用キャリアテープ及びエアー緩衝材「エアロテクト」がともにユーザーの生産計画変更により減収。

売上高の推移

(単位:百万円)



■当期の概況

- ・ **テープ基材関連**については、安価な海外製テープ流入の影響を受けるも、建設・物流業界が比較的活況であったことから僅かに増収。
- ・ **剥離紙**については、製造業の海外移転が進み、国内需要が減少傾向にあるなか、前期に伸ばした両面テープ用の輸出案件も、当期はユーザーの在庫調整を受け、受注減少。IT関連分野に使用される電材用工程紙は、海外からの受注が回復途上にあるものの、安定した復調にはいたらず、剥離紙全体で減収。

売上高の推移

(単位:百万円)



■当期の概況

- ・ **「サニテクト」**については、光学分野の苦戦続くが、剥離フィルムのないPET基材の「NSタイプ」の品質改善、改良で受注が回復し、増収。
- ・ **「PAC」**については、ユーザーの品質要求に応えることで一定の受注数量を確保したが、低価格品のニーズが多く、減収。
- ・ **「SAT」**については、スマートフォン市場の成長鈍化とタッチパネルの技術的進歩に伴う光学フィルム系部材の点数削減の流れを受け部材メーカーからの受注が減少。さらに、中国市場開拓の遅れも加わり、大幅減収。

売上高の推移

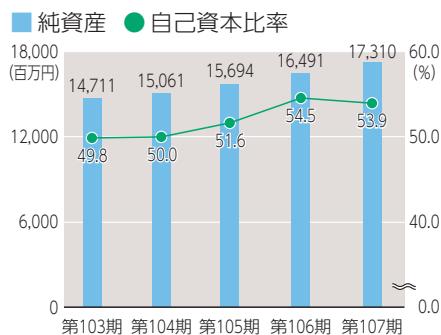
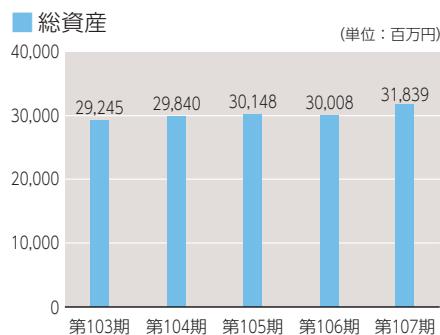
(単位:百万円)



連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前期末 平成27年3月31日現在	当期末 平成28年3月31日現在	科目	前期末 平成27年3月31日現在	当期末 平成28年3月31日現在
資産の部			負債の部		
流動資産	19,315	19,228	流動負債	11,475	12,882
現金・預金	5,440	5,601	仕入債務	6,208	6,045
売上債権	10,355	10,273	短期借入金	3,250	3,220
たな卸資産	3,133	3,101	その他	2,017	3,617
その他	385	251	固定負債	2,041	1,646
固定資産	10,693	12,611	長期借入金	450	233
有形固定資産	5,376	7,059	その他	1,591	1,413
無形固定資産	17	17	負債合計	13,517	14,529
投資その他の資産	5,299	5,534	純資産の部		
資産合計	30,008	31,839	株主資本	15,258	16,003
			資本金	2,176	2,176
			資本剰余金	2,136	2,136
			利益剰余金	11,061	11,806
			自己株式	△115	△115
			その他	1,233	1,307
			純資産合計	16,491	17,310
			負債純資産合計	30,008	31,839



連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前 期	当 期
	平成26年4月 1日から 平成27年3月31日まで	平成27年4月 1日から 平成28年3月31日まで
売上高	29,884	29,567
売上原価	26,863	25,481
売上総利益	3,020	4,085
販売費及び一般管理費	2,879	2,917
営業利益	141	1,168
営業外収益	195	227
営業外費用	250	38
経常利益	85	1,357
特別利益	17	—
特別損失	11	29
税金等調整前当期純利益	92	1,328
法人税、住民税及び事業税	13	336
法人税等調整額	25	84
非支配株主に帰属する当期純利益	1	8
親会社株主に帰属する当期純利益	51	898

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	前 期	当 期
	平成26年4月 1日から 平成27年3月31日まで	平成27年4月 1日から 平成28年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	840	1,540
投資活動によるキャッシュ・フロー	△990	△729
財務活動によるキャッシュ・フロー	△553	△588
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4	△6
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△708	215
現金及び現金同等物の期首残高	5,974	5,265
現金及び現金同等物の期末残高	5,265	5,481

■ 営業利益

(単位：百万円)



■ 経常利益

(単位：百万円)



■ 親会社株主に帰属する当期純利益

(単位：百万円)



全国に広がる当社のネットワークのなかから「静岡工場」をご案内するとともに、当期のトピックスをご紹介します。

工場のご紹介

PLANT

安心・安全な製品づくりに取り組む
軽包装材料に特化した主力工場

「静岡工場」(静岡県静岡市)

静岡工場は、昭和26年静岡県安倍郡（現在の静岡市清水区）に静岡加工紙工業株式会社 清水工場（昭和39年静岡工場に改称）として設立以来、当社の礎として長年にわたって生産活動を担ってきました。

●主力商品『レンジDo!』などの軽包装材料を生産

現在は当社の3つの事業分野のうち、軽包装材料に特化した工場として、総勢約105名の人員体制で、食品・医療用や産業用途向け包装材料を生産しています。

そのなかでも、イージーオープン蓋材『サンシール』や、電子レンジ対応の自動通蒸式密封パウチ『レンジDo!』は、大手食品メーカーへの納入実績と安定した



Data

所在地：静岡県静岡市清水区吉川1515番地
設立：昭和26年（1951年）



▲静岡工場の正門



▲静岡工場が備える設備

品質によって市場で高い評価を得ています。特に『レンジDo!』においては、冷凍・レトルトの調理済み食品の需要が高まるなか、順調に売上を伸ばしており、平成27年には店頭陳列時の見栄え向上を図ったスタンディングタイプがラインアップに加わりました。

●本年度中の『FSSC22000』の認証取得を目指す

現在静岡工場では、近年高まりを見せるフードディフェンスを含む食の安全への要求に応えるため、様々な取り組みを行っています。その1つとして、平成27年より食品安全マネジメントシステムの国際規格『FSSC22000』の認証取得に向けての活動をスタートし、本年中の取得を目指しています。このシステムは既に当社奈良工場の軽包装材料部門が導入しており、静岡工場が認証取得した際には、軽包装材料事業全体としてグローバル展開が可能となります。

今後も従来から活動してきた安全・加工衛生や品質改善、合理化、5S活動と合わせ、顧客満足を重視した取り組みに従業員一丸となって注力してまいります。



巨大マーケット 中国への展開

当社では、今後も巨大マーケットとして成長が見込める中国への事業展開を積極的に行ってまいります。そのなかでも昨年設立した海外現地法人灿櫻（上海）商貿有限

公司是、変革スピードの速い中国の現地情報をいち早く収集するとともに、当社グループの製品を中心に中国及びその周辺国への販売を目的としています。また、合併会社である長鼎電子材料（蘇州）有限公司は、中国における光学用表面保護フィルムの需要増大を見込み、中国及び周辺諸国をターゲットとして安定供給と競争力強化のため現地生産拠点として稼働を開始しました。

灿櫻（上海）商貿有限公司の概要

所在地	中国上海市長寧区虹橋路
資本金	11百万人民元
出資比率	株式会社サンエー化研 100%
設立日	平成27(2015)年12月1日
事業内容	当社グループ製品の中国及びその周辺国への販売

長鼎電子材料（蘇州）有限公司の概要

所在地	中国江蘇省蘇州高新区
資本金	15百万米ドル
出資比率	長興(中国)投資有限公司 60%・株式会社サンエー化研 40%
設立日	平成25(2013)年12月9日
事業内容	光学用表面保護フィルムの製造



◀ 灿櫻（上海）商貿有限公司



▶ 長鼎電子材料（蘇州）有限公司



世界最大の高性能フィルム展示会に出展 『第7回 高性能フィルム展』

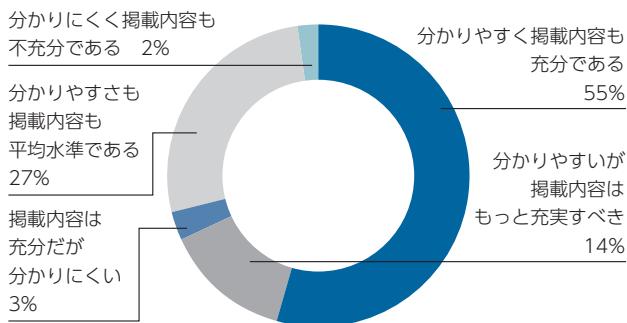
高性能フィルム業界最大の展示会「第7回 高性能フィルム展」が4月6日から8日まで東京ビッグサイトで開催されました。当社は、光学用表面保護フィルム『サニテ

クトNSタイプ』、『サニテクト低汚染酸フリータイプ』を出展し、関係者の注目を集めました。



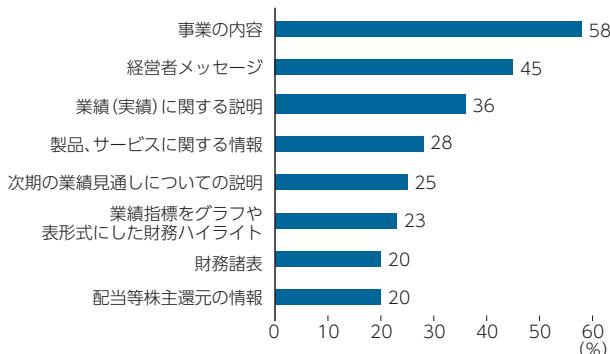
「株主の皆様へ 第107期第2四半期のご報告」において、アンケートを実施いたしました。多くのご回答、ありがとうございました。ここにアンケート結果の一部をご報告いたします。

Q 掲載内容についてどう思われますか？



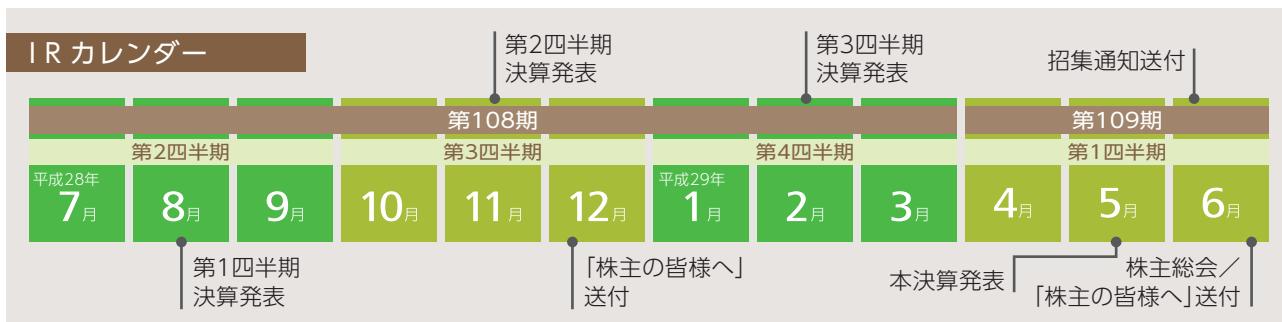
「分かりやすく掲載内容も充分である」という回答が過半数を占めました。昨年、デザインやレイアウトを見直し、写真を多く使うようにするなど、当社の事業内容について分かりやすくお伝えするようにいたしました。引き続き、ご評価いただけるよう努めてまいります。

Q どの掲載内容を中心にご覧になりましたか（いくつでも）。



具体的な掲載内容としては、「事業の内容」にもっとも多くの回答をいただきました。自由記述においても、当社の事業に対するご期待や当社製品に関する記載をいただいております。当社の事業内容をより知っていただけるよう、この冊子の工夫を進めていきたいと存じます。

▶ 今回もアンケートを実施いたします。裏表紙にご案内を掲載しておりますので、ぜひご回答ください。





Stock Information & Corporate Data

株式の状況・会社概要 (平成28年3月31日現在)

● 株式の状況

- 発行可能株式総数 …………… 45,000,000株
- 発行済株式の総数 …………… 11,320,000株
- 株主数 …………… 2,319名

● 大株主の状況

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	持株比率(%)
新生紙パルプ商事株式会社	1,812,200	16.51
昭和ボックス株式会社	1,244,200	11.33
サンエー化研社員持株会	359,100	3.27
株式会社三菱東京UFJ銀行	310,000	2.82
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (退職給付信託口・昭和ボックス(株)口)	300,000	2.73
みずほ信託銀行株式会社 (退職給付信託 昭和ボックス(株)口)	300,000	2.73
双日プラネット株式会社	227,000	2.06
株式会社みずほ銀行	200,000	1.82
山田次夫	136,500	1.24
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	127,900	1.16

1. 当社は自己株式を345,203株保有しておりますが、上記の大株主から除いております。
 2. 持株比率は自己株式(345,203株)を控除しております。

● 所有者別株式分布状況



● 会社概要

商号	株式会社サンエー化研
本社所在地	東京都中央区日本橋本町1-7-4
事業所	関西支店、名古屋営業所、静岡営業所 静岡工場、袋井工場、掛川工場、奈良工場 研究所 台北営業所
設立	昭和17年9月
資本金	21億76百万円
従業員数	524名
主な事業内容	紙、プラスチック、金属箔等を主原材料とする 軽包装材料、剥離紙、粘着テープ基材、表面保護 フィルム等、包装材料関連製品の製造及び販売

● 連結子会社

- 東邦樹脂工業株式会社
本社・工場／栃木県下都賀郡野木町野木148
- 灿櫻(上海)商貿有限公司
中国上海市長寧区虹橋路

● 役員 (平成28年6月28日現在)

代表取締役社長	藤岡 宣 隆	取締役	大橋 宏 行
専務取締役	林 喜久雄	社外取締役	藤澤 廣 一
常務取締役	藤岡 貞 章	常勤監査役	鈴木 直 樹
取締役	山本 明 広	監査役	宮本 貞 彦
取締役	櫻田 武 志	監査役	飯崎 充

(注) 監査役 鈴木直樹、宮本貞彦及び飯崎充の各氏は、社外監査役です。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
配当金受領株主確定日	3月31日(期末配当) 9月30日(中間配当)
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL:0120-232-711(通話料無料)
上場証券取引所	株式会社東京証券取引所 JASDAQスタンダード
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.sun-a-kaken.co.jp (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします)

[株式事務に関するお問い合わせ]

- (1)住所変更、配当金の振込指定、単元未満株式の買取請求等のお申出先について
証券会社に口座を開設されている株主様は、当該証券会社にお問い合わせください。
証券会社に口座がないため特別口座に記録されている株主様は、当社の特別口座管理機関(兼株主名簿管理人)である、三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部にお問い合わせください。
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
TEL:0120-232-711(通話料無料)
- (2)払渡期間経過後のお取り扱
配当金領収証の裏面に受取方法を指定し、三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部までご郵送いただくか、同銀行全国各支店窓口にてお受け取りください。

当社の詳細なIR情報は、
ホームページをご覧ください。

当社ホームページの(投資家情報)では、詳細なIR情報を掲載しております。
また新製品情報をはじめ、業務内容や最新の企業情報、展示会情報等についてもご覧いただけます。



<http://www.sun-a-kaken.co.jp>

株主の皆様の声をお聞かせください

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。
お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます



<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 4234

いいかぶ

検索



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からもアクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。



※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
(株式会社 a2mediaについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30) MAIL:info@e-kabunushi.com

株式会社 サンエー化研

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1-7-4
TEL 03-3241-5701 FAX 03-3241-5719



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。

